

リアブロック 取扱説明書

はじめに

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

本製品を安全に正しくご使用いただき、機能・性能を十分に発揮させる為に、必ず取付作業前・ご使用前に本取扱説明書をお読み下さい。取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、正しく安全に使用して下さい。

- 本製品及び付属品の誤った使用方法・取扱いによって発生した破損、事故、損害などに関して弊社は一切の責任を負いかねます。また、クレーム・アフターサービスについても一切お受けできませんので、予めご了承下さい。
- 本製品はノーマル車両を基準に開発され、各車種専用を設定しております。
装着車種と適合車種を確認し、適合車種以外への装着は行わないで下さい。
適合車種以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品及び本取扱説明書は改良のため予告なく仕様を変更する場合がありますので予めご了承下さい。
- 本取扱説明書は自動車メーカー発行の取扱説明書や整備書等と共に大切に保管下さい。

適合車種

商品名	リアブロック
品番	CS-056
車名	TOYOTA ハイラックス
型式	GUN125
年式	2017.09～
備考	リフト量：約 35mm アップ キャスト角補正 2°

初版 2023年06月19日
第2版 2025年07月29日

安全上の注意

本取付説明書では安全に作業を行っていただくため、お客様への危険レベルを次のマークで表示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、作業員または使用者が死亡または重傷を負う可能性がある場合



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、作業員または使用者が傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される場合

ご使用になる前に

⚠ 警告

- 本取扱説明書と自動車メーカー発行の整備書・サービスマニュアル等をよくご覧いただき、正しい作業手順や取付け方法をご理解の上、作業をお進め下さい。
- エンジン運転状態、平らではない場所、火気や薬品を扱う場所での作業は絶対に行わないで下さい。
- 車両が不安定な状態での作業は非常に危険です。車載ジャッキを使用した車体の持ち上げは絶対に行わないで下さい。車載ジャッキを使用すると車体が不安定な状態となり、車両が落下してケガをしたり、最悪の場合は死亡する恐れがあります。必ず自動車メーカー指定の位置にて自動車専用リフトかガレージジャッキとリジットラックを使用して下さい。また、リジットラック使用時でもボディ落下防止のため、必ず安全対策をして下さい。

⚠ 注意

- 本製品を装着したことにより、衝突軽減ブレーキ等の運転支援システムが正しく機能しない可能性があります。本製品を装着したことによる誤作動や不具合に関しては一切の責任を負いかねます。
 - 本製品及びその他部品の着脱作業は、取り付け作業者が責任を負うこととなります。地方運輸局長の認証を受けた自動車整備工場等で専用工具等を使用し整備資格を持った整備士の方の作業を推奨いたします。
 - 走行直後の車両への作業は避け、エンジン周辺・マフラー・ブレーキ周辺などの温度が冷めたことを確認し、作業を行って下さい。
 - 全ての作業は作業に適した服装・保護具を着用し行って下さい。
- 装着前に構成パーツが全て揃っているか確認して下さい。
 - 製品は丁寧にお取り扱い下さい。落下などの強い衝撃を与えると、破損や変形をして確実な取り付けができなくなる場合があります。

取付け時の注意

⚠ 警告

- 本製品は各車種専用を設定されております。適応車種以外への装着は行わないで下さい。
- 他社製品との混用や別パーツの流用、本製品への加工や改造は絶対に行わないで下さい。
- 取付け確認を行って設計しておりますが、万一、自動車メーカーの仕様変更や追加装備等の変更により取付けに何らかの問題が発生した場合は直ちに作業を止め、標準仕様へ戻し弊社までご連絡下さい。

⚠ 注意

- 取付けの際はボディなどに傷を付けないよう十分に注意して下さい。必要な場合は表面保護フィルムなどで製品または車両を覆い取付作業を行って下さい。
 - 各ボルト・ナットを適正トルクで締め付けて下さい。適正トルクで締め付けない場合、ボルト・ナットのネジ部の破損や、ゆるみの原因となります。
- 車種によっては純正部品を再使用する場合がございますので、部品取り外しの際は破損や紛失にお気をつけ下さい。

取付け後の確認

⚠ 注意

- 各ボルト・ナットが適正トルクにて締め付けられているか、部品の欠落等がないか必ず確認して下さい。
- 全体の取り付けが完了したら車体を揺さぶり、異音がないかを確認して下さい。
- 取付確認後は必ず走行テストを行い、異音や操縦に問題がないかを確認して下さい。
- 走行中に異音や異常な振動等の異変が生じた場合は、速やかに安全な場所に車両を停止し、取付けを依頼した自動車整備工場等で点検を行って下さい。
- 本製品装着後は、必ずホイールアライメントの調整を行って下さい。調整を行わないとタイヤの偏摩耗が発生したり走行性能が悪化するので危険です。

取付後の確認

⚠ 注意

- 各ボルト・ナットが規定トルクにて締め付けられているか、部品の欠落等がないか必ず確認して下さい。
- ブレーキホースや ABS センサハーネス等が他部品と干渉やこすれがないか必ず確認して下さい。
- タイヤ・ホイールが、車両やサスペンション本体への接触がないか走行前に必ず確認して下さい。接触している場合は油漏れや作動不良や破損や事故の原因となりますので、接触しないように修正して下さい。接触が避けられない場合は直ちに装着を中止して下さい。
- 全体の取り付けが完了したら車体を揺さぶり、異音がないかを確認して下さい。
- スプリングがスプリングシートに確実にセットされており、ずれていないかを確認して下さい。スプリングの離脱等の原因となります。
- 取付確認後は必ず走行テストを行い、異音や操縦に問題がないかを確認して下さい。
- 走行中に異音や異常な振動等の異変が生じた場合は、速やかに安全な場所に車両を停止し、取付けを依頼した自動車整備工場等で点検を行って下さい。
- 商品装着後は、必ずホイールアライメントの調整を行って下さい。調整を行わないとタイヤの偏摩耗が発生したり走行性能が悪化するので危険です。

使用上の注意

⚠ 注意

- 日常点検はドライバーの責任です。快適に運転していただくために、必ずお車を運転する前に日常点検を行って下さい。
- 本製品使用期間中は、定期的に各締め付け部の緩みや破損部分がないか等を点検していただき、必要に応じて規定トルクでの増し締め・調整・清掃を行って下さい。
- 万一、製品本体やフレーム・ホーシング本体等に亀裂・変形等の異常や不具合が生じている場合は、そのままの使用は避けてお買い求めの販売店または取付けを依頼した自動車整備工場へご相談して下さい。

廃却について

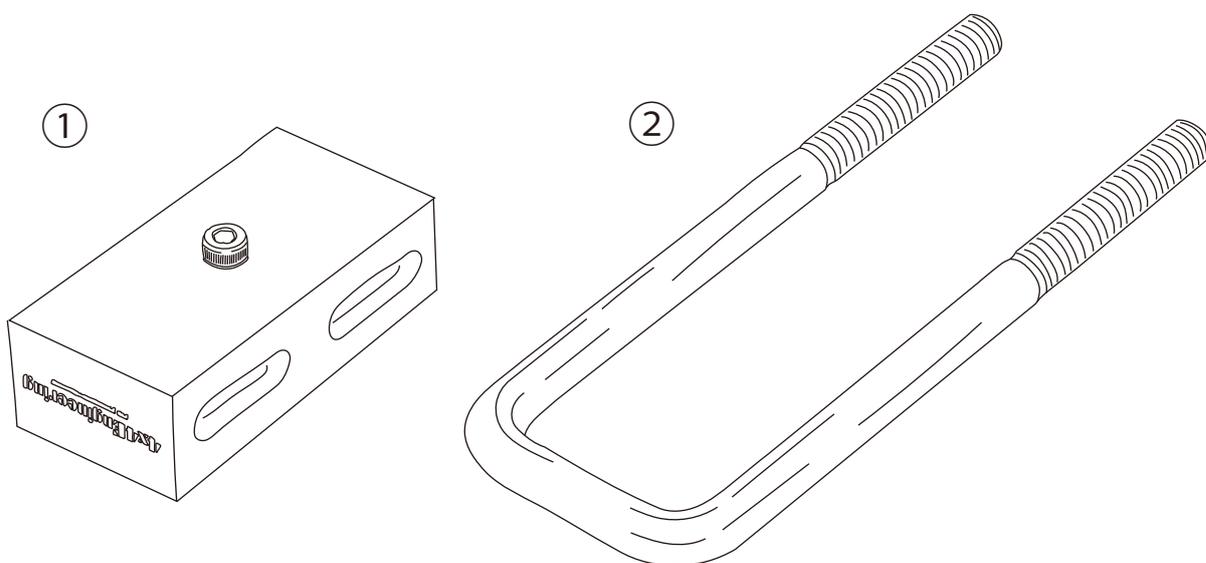
- 廃却する場合はお客様ご自身で対処せず、必ず自動車整備工場や自動車部品解体業者などの専門業者に依頼して下さい。

<保安基準の適合について>

- 車高の変化が 40mm 以内の場合は「軽微な変更」として扱われるので構造変更手続きは不要です。
しかし、タイヤ外径拡大や他商品と同時装着して車両全高が 40mm を超えて変化した場合は車高変更の構造変更手続きが必要になります。
- 車両のカスタム内容によってはリフトアップにより直前側方視界基準（保安基準第 44 条第 5 項）を満たさなくなる可能性があり、別途フロントカメラなどの前方視界確認機構の装着が必要となる場合があります。
- 車両の個体差により突入防止装置の基準（高さ 550mm）を満たさない場合は、リアバンパー位置の再調整や部品新設により突入防止装置の高さを 550mm 以下にする対処が必要になることがあります。

製品内容の確認

● 取付け前に製品内容の有無、数量が全て揃っているかを確認して下さい。

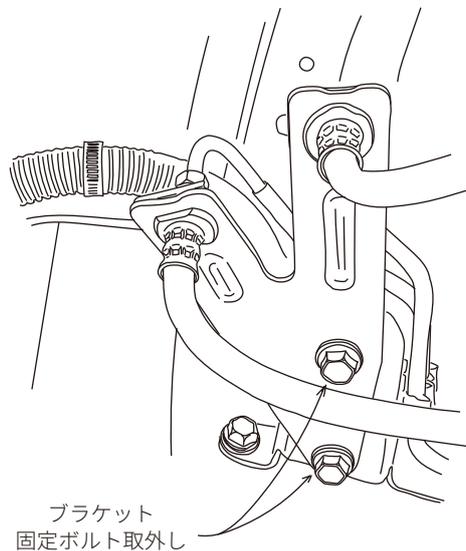
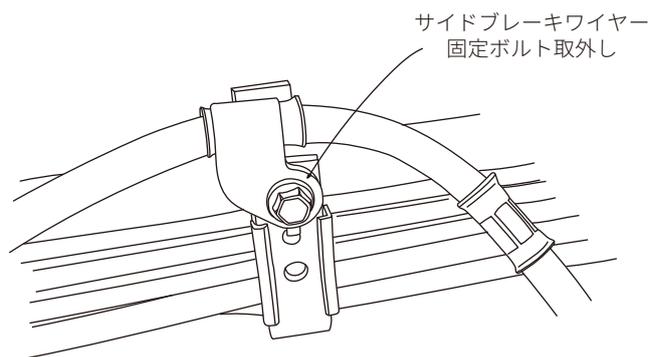


	品名	サイズ	数量
①	リアブロック本体	CS-056-1	2
②	ロングU字ボルト ※ワッシャー、ナットは純正を再使用します。	UB-NPR-F220 M14× 幅 62× 首下 220	4
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			

組付手順

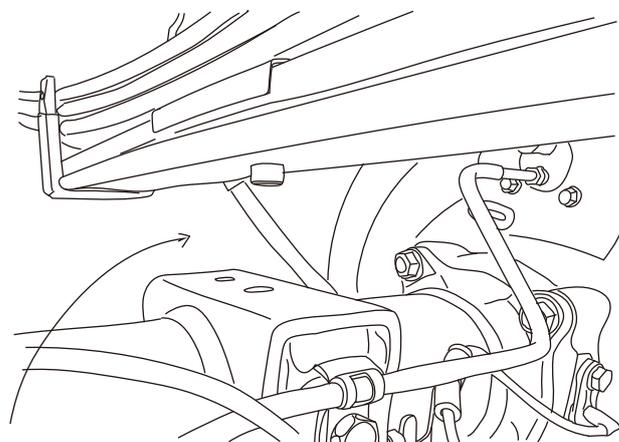
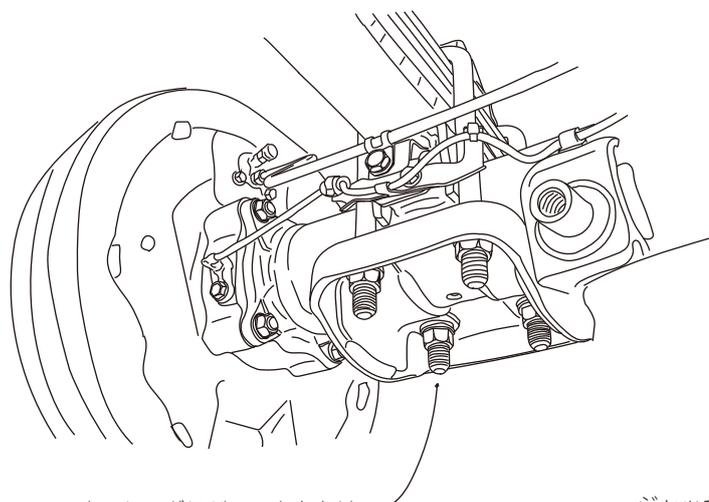
1. 取付け準備

- ①リアリーフスプリングに固定されているサイドブレーキワイヤーの固定ボルトを左右とも取り外す。
- ②リアブレーキホースブラケットの固定ボルトを取り外す。
- ③リアショックアブソーバーを左右とも取り外す。



2. ホーシング切り離し

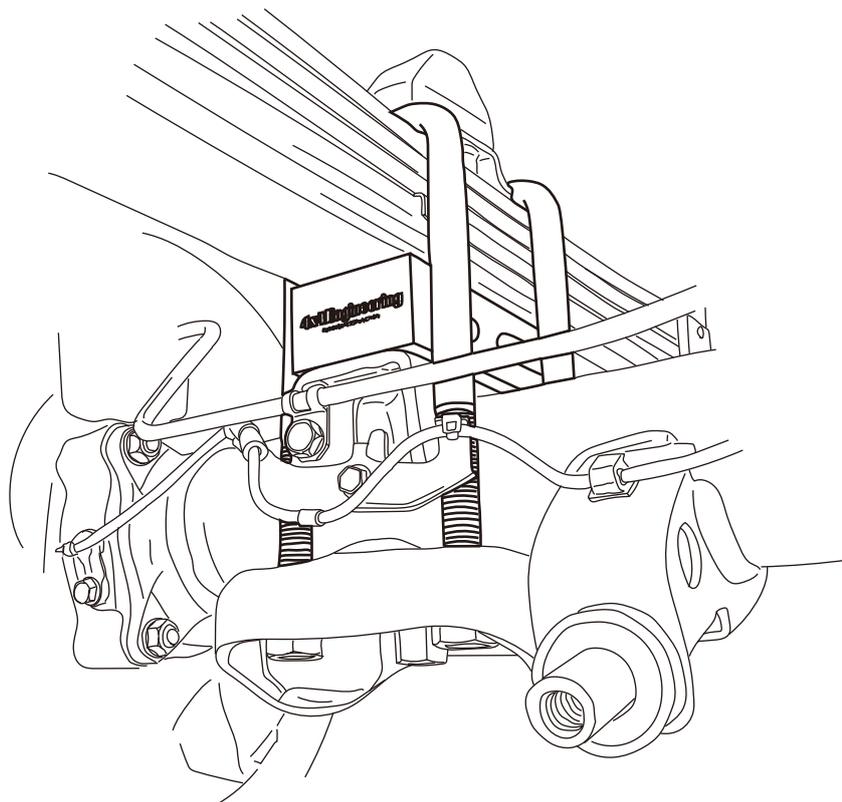
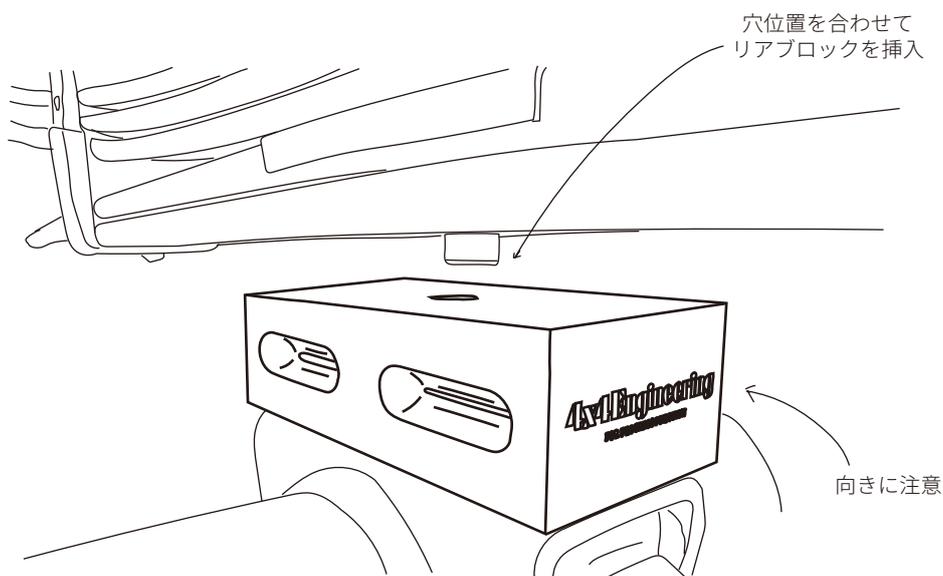
- ①ホーシングにジャッキをかけ、U字ボルトを取り外す
- ②ジャッキを下げ、リーフとホーシングを切り離し、ブロックが挿入出来る程度（50mm 程度）隙間を空ける。



組付手順

2. リアブロック取付け

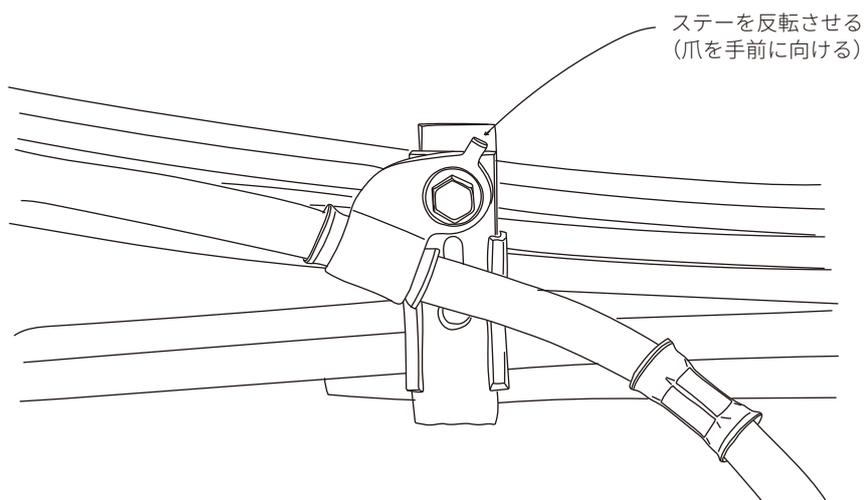
- ① ホーシング側のリーフ台座の穴位置とリーフ側の位置決めピンを合わせて、リアブロック本体を取り付ける。
前後上下を間違えないように注意して下さい。
「F」の刻印が車体前方、ロゴが車体後方に向くように取り付けます。
- ② ロングU字ボルトを使用し、リーフとホーシングを固定する。
(ワッシャー及びナットは純正品を再使用します。)
- ③ 規定トルクにて締め付ける。



組付手順

3. 取外し箇所復旧

- ①リアショックアブソーバーを取り付ける。
- ②サイドブレーキワイヤー固定部を取り付ける
ステアの向きを反転させて取り付けます。
- ③ブレーキホースブラケットを取り付ける。



※イラストは左側



株式会社フォーバイフォーエンジニアリングサービス

<https://www.4x4es.co.jp>

E-mail : info@4x4es.co.jp